

(7) 社会教育系施設：図書館

1) 施設概要

本市の図書館は、21 施設あります。総延床面積は約 1 万 6 千㎡で、市が保有する施設の 0. 7%を占めます。築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 7 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 9 施設、築 20 年以下が 5 施設です。

①施設一覧（平成 27 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	備 考
1	市立図書館	中央区大江 6 丁目 1 番 74 号	昭和 56 年	34	4,812.45	
2	城南図書館(図書館)	南区城南町舞原 451 番地 9	平成 25 年	2	1,531.14	市立図書館分館 児童館併設
3	中央公民館図書室	中央区草葉町 5 番 1 号	昭和 43 年	47	199.20	
4	五福公民館図書室	中央区細工町 2 丁目 25 番地	平成 3 年	24	260.01	
5	河内公民館図書室	西区河内町船津 791 番地	平成 2 年	25	166.32	
6	託麻公民館図書室	東区長嶺東 7 丁目 11 番 15 号	昭和 55 年	35	304.20	
7	秋津公民館図書室	東区秋津 3 丁目 15 番 1 号	昭和 60 年	30	240.79	
8	東部公民館図書室	東区錦ヶ丘 1 番 1 号	昭和 52 年	38	233.16	
9	西部公民館図書室	西区小島 2 丁目 7 番 1 号	平成 24 年	3	302.27	
10	花園公民館図書室	西区花園 5 丁目 8 番 3 号	平成 2 年	25	262.57	
11	飽田公民館図書室	南区会富町 1333 番地 1	平成 8 年	19	276.05	
12	天明公民館図書室	南区奥古閑町 2035 番地	平成 3 年	24	246.72	
13	幸田公民館図書室	南区幸田 2 丁目 4 番 1 号	昭和 57 年	33	324.41	
14	南部公民館図書室	南区南高江 6 丁目 7 番 35 号	昭和 62 年	28	275.19	
15	北部公民館図書室	北区鹿子木町 66 番地	平成元年	26	170.61	
16	清水公民館図書室	北区清水亀井町 14 番 7 号	昭和 59 年	31	212.43	
17	龍田公民館図書室	北区龍田弓削 1 丁目 1 番 10 号	昭和 54 年	36	297.00	
18	植木文化センター(図書館)	北区植木町岩野 238 番地 1	平成 5 年	22	623.36	市立図書館分館 正式名称:植木図書館
19	アスパル富合(図書館)	南区富合町清藤 400 番地	平成 14 年	13	748.60	市立図書館分館 正式名称:とみあい図書館
20	男女共同参画センターはあもにいい(図書館)	中央区黒髪 3 丁目 3 番 10 号	平成 2 年	25	175.84	
21	くまもと森都心プラザ(図書館)	西区春日 1 丁目 14 番 1 号	平成 23 年	4	4,591.22	
合 計					16,253.54	

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 27 年 4 月 1 日現在）



2) 実態把握

①運営状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	運営時間	休館日	運営日数	蔵書数	運営方法 (直営、指定管理)
1	市立図書館	9:30-19:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	301	524,155	直営
2	城南図書館(図書館)	9:30-20:00	第4水曜日(当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	338	76,563	指定管理
3	中央公民館図書室	9:30-17:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・室内整理日・特別整理日	288	35,620	直営
4	五福公民館図書室	9:30-17:00		290	16,146	直営
5	河内公民館図書室	9:30-17:00		289	23,739	直営
6	託麻公民館図書室	9:30-17:00		283	32,111	直営
7	秋津公民館図書室	9:30-17:00		289	32,487	直営
8	東部公民館図書室	9:30-17:00		286	33,272	直営
9	西部公民館図書室	9:30-17:00		308	26,675	直営
10	花園公民館図書室	9:30-17:00		287	29,306	直営
11	飽田公民館図書室	9:30-17:00		278	30,028	直営
12	天明公民館図書室	9:30-17:00		289	23,170	直営
13	幸田公民館図書室	9:30-17:00		218	32,207	直営
14	南部公民館図書室	9:30-17:00		289	34,106	直営
15	北部公民館図書室	9:30-17:00		285	22,220	直営
16	清水公民館図書室	9:30-17:00		284	31,029	直営
17	龍田公民館図書室	9:30-17:00		289	33,924	直営
18	植木文化センター (図書館)	9:30-19:00		300	67,508	直営
19	アスパル富合 (図書館)	9:30-19:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日(毎年14日以内)	308	57,674	直営
20	男女共同参画センター はあもにい(図書館)	9:00-19:00	第2、第4月曜日(当該月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	335	18,002	指定管理
21	くまもと森都心プラザ (図書館)	9:30-20:00	毎月第3水曜日(当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	344	267,697	指定管理
合 計					1,447,639	

※ 市立図書館は、工事のため9月～2月まで休館（うち、144日間は臨時窓口を設置）

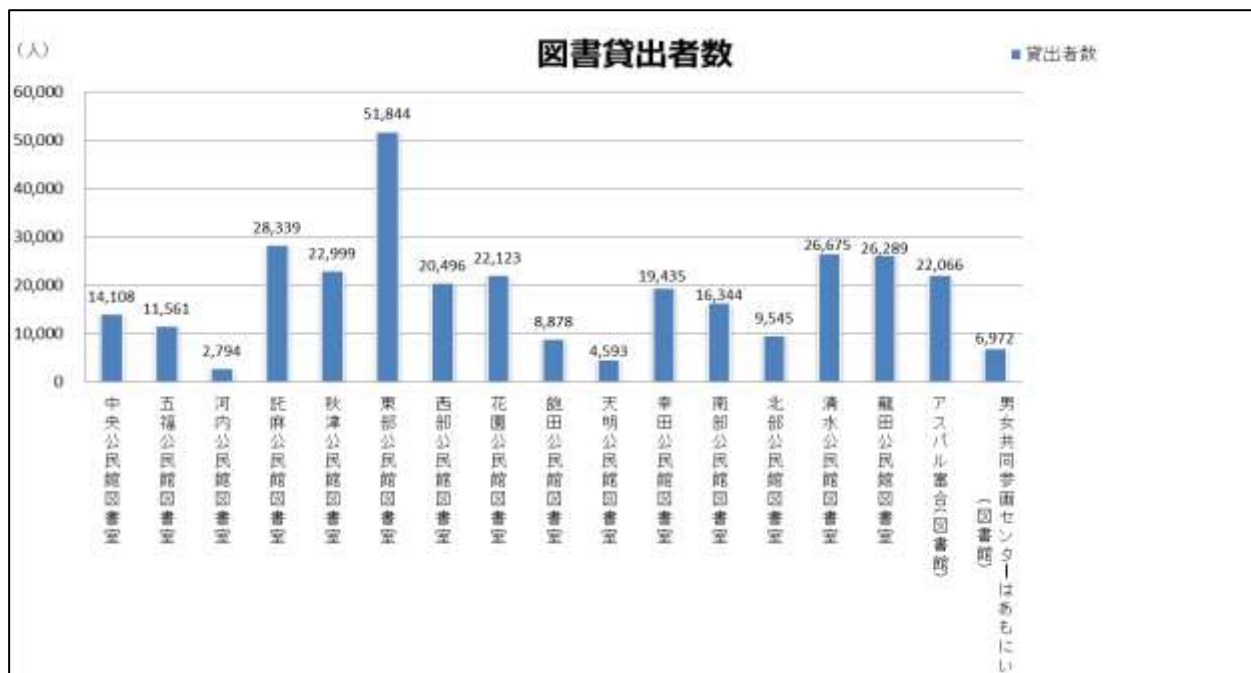
※ 幸田公民館図書室は、工事のため10月～12月まで休館

※ 移動図書館を除く

②利用状況

図書館の平成 26 年度の図書貸出者数は全体で約 67 万人です。施設別では、くまもと森都心プラザが約 15 万人で全体の 22%を占めています。次いで、市立図書館が約 11 万人で全体の 16%を占めています。他の殆どの図書館が 1 万人から 2 万人ですが、中には 1 万人に満たない図書館もあります。

図表 施設別図書貸出者数（平成 26 年度）

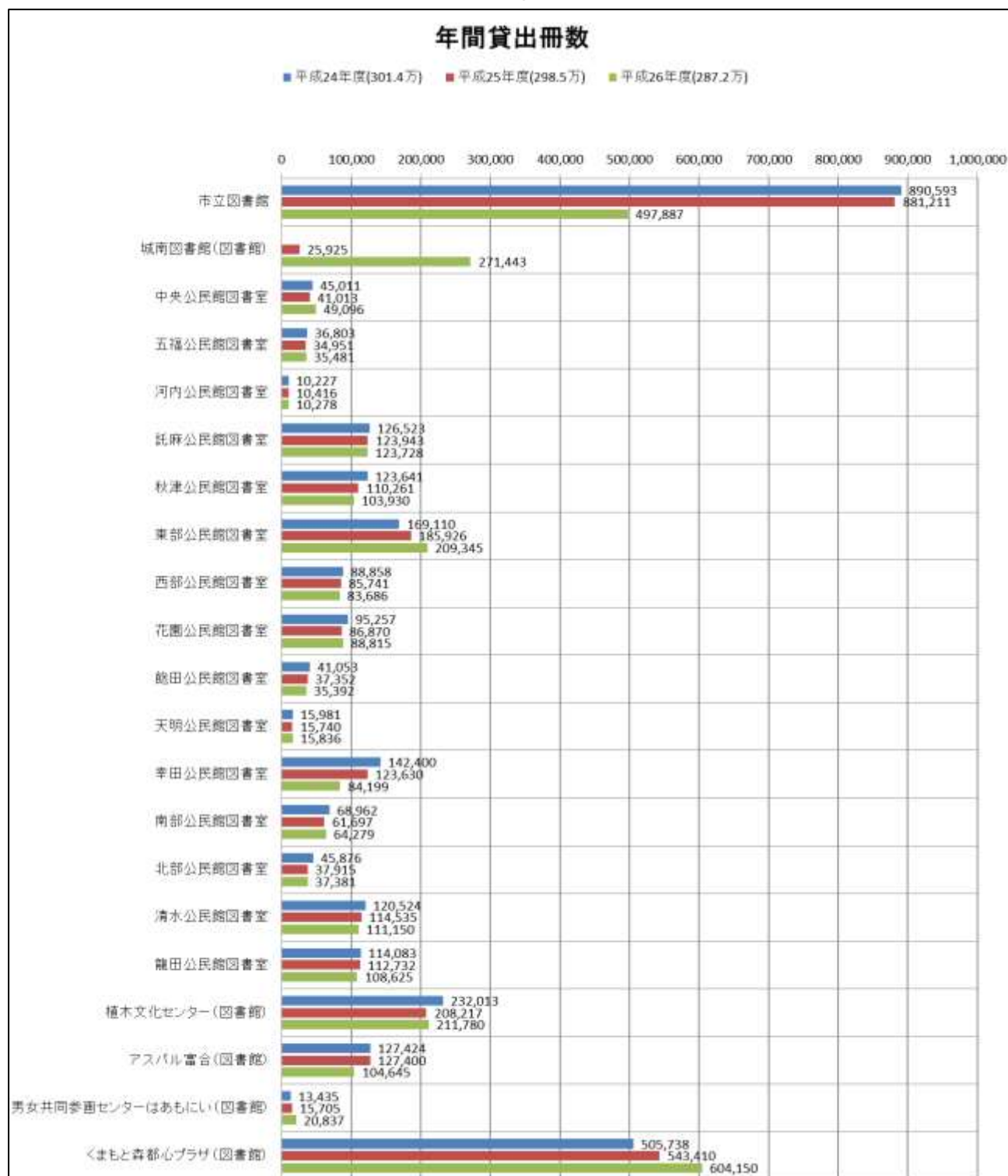


※ 市立図書館と幸田公民館図書室は平成 26 年度に工事による一時休館あり

※ 移動図書館を除く

平成 26 年度の貸出冊数は全体で約 287 万冊です。平成 24 年度と比較して、約 1 割程度減少しています。施設別では、市立図書館が約 50 万冊で、全体の約 17%を占めています。

図表 年間貸出冊数の推移（平成 24 年度～26 年度）

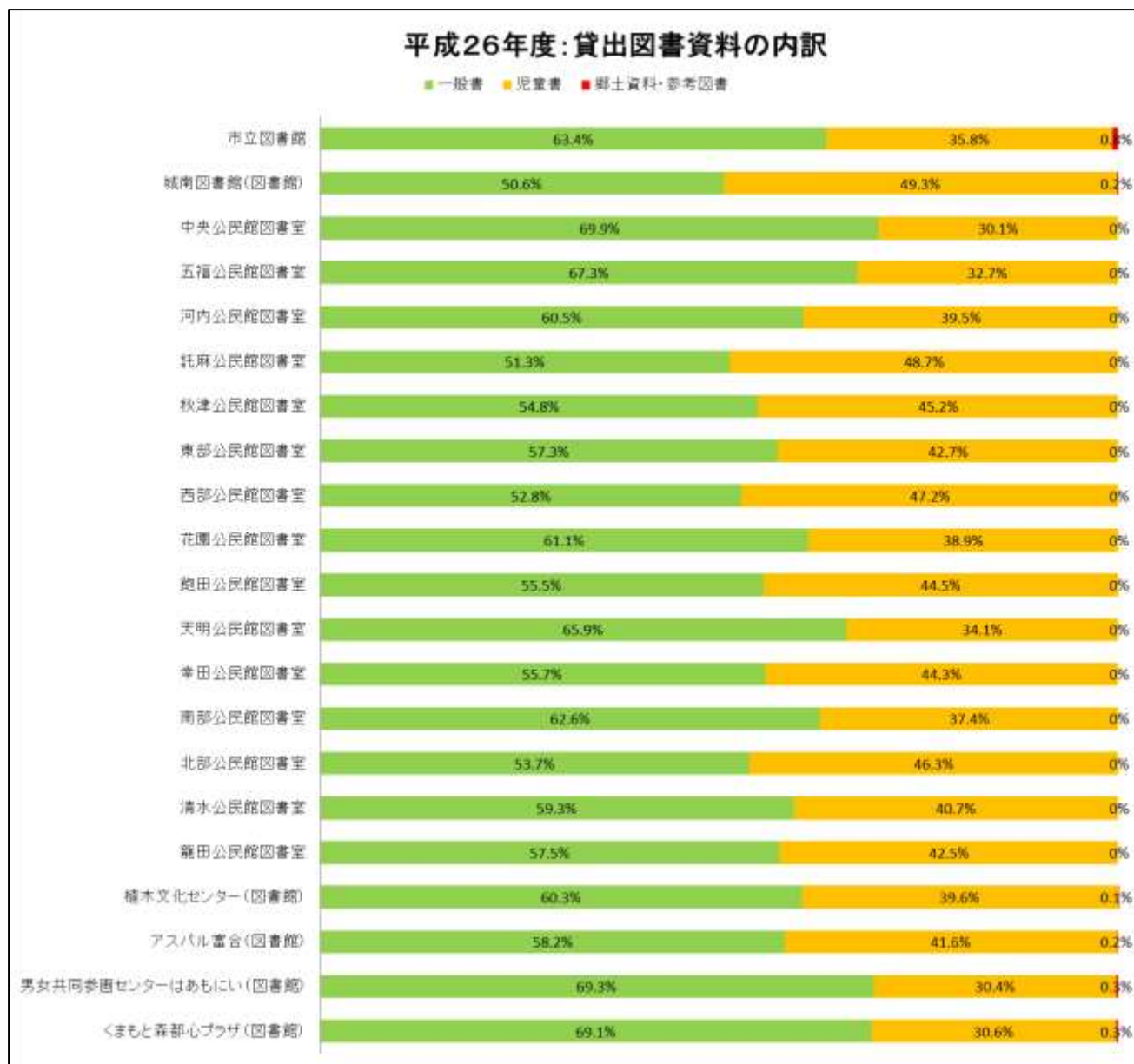


※市立図書館と幸田公民館図書室は平成 26 年度に工事による一時休館あり。

※城南図書館(図書館)は平成 26 年 3 月 1 日開設

※移動図書館を除く

図表 貸出図書の内訳（平成 26 年度）



※移動図書館を除く

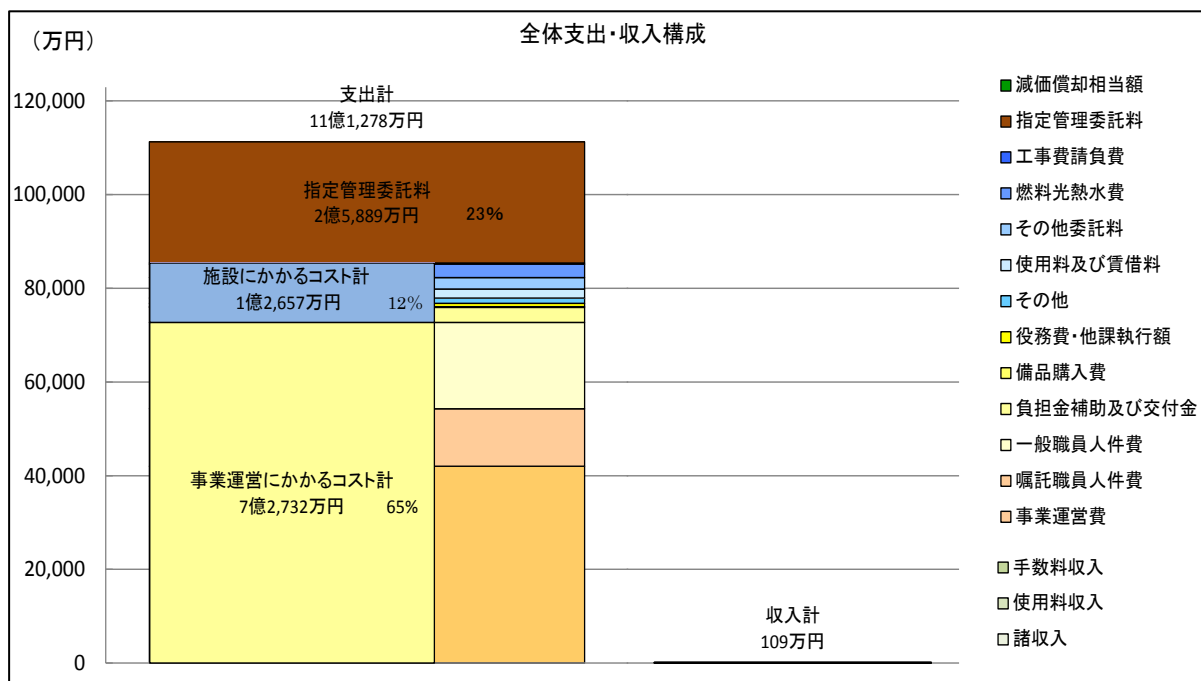
③コスト状況

年間トータルコストは、11億1,278万円です。このうち、指定管理委託料は2億5,889万円(23%)で、施設にかかるコストは1億2,657万円(12%)で、事業運営にかかるコストは7億2,732万円(65%)となっています。

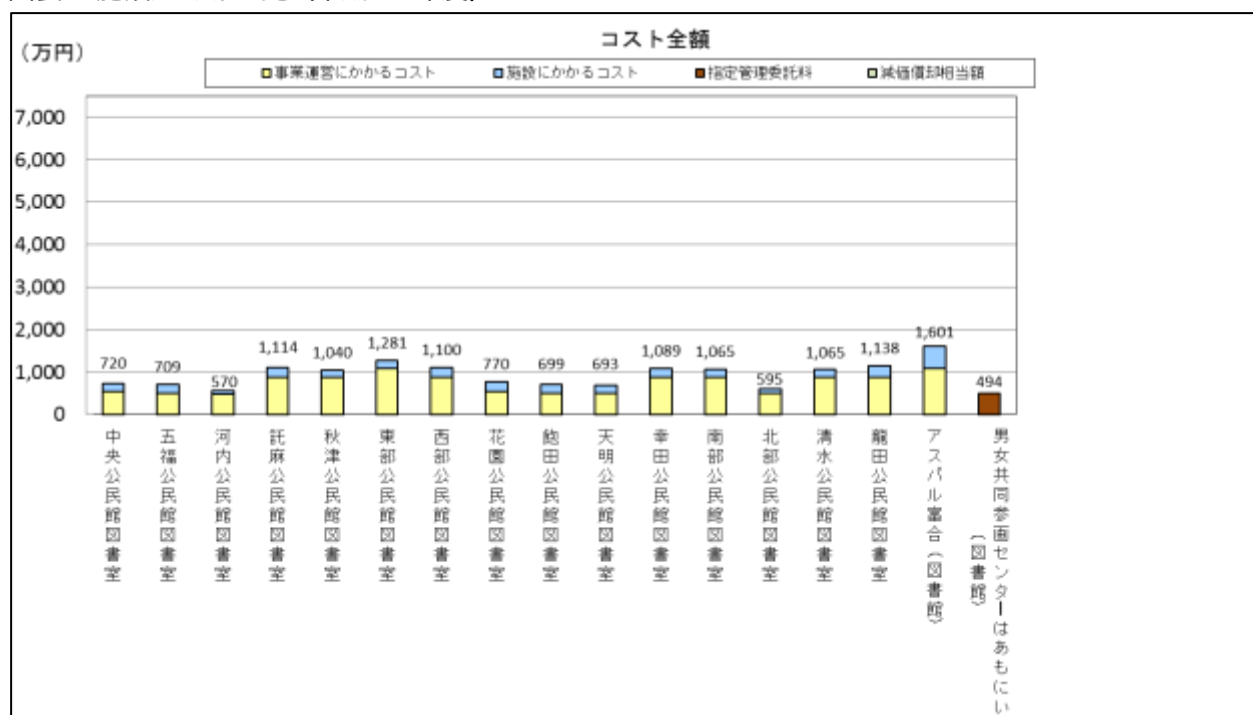
施設別では、市立図書館が5億595万円で全体の45%を占めています。次いで、くまもと森都心プラザが3億2,743万円で全体の29%を占めています。

なお、市立図書館については、全図書館、全公民館児童室の図書管理システム等の中央機能を担っているため、事業運営にかかるコストが高くなっています。特に平成26年度は図書管理システムの更新もあり、増加しています。

図表 全施設トータルコスト（平成26年度）



図表 施設別コスト一覧（平成 26 年度）



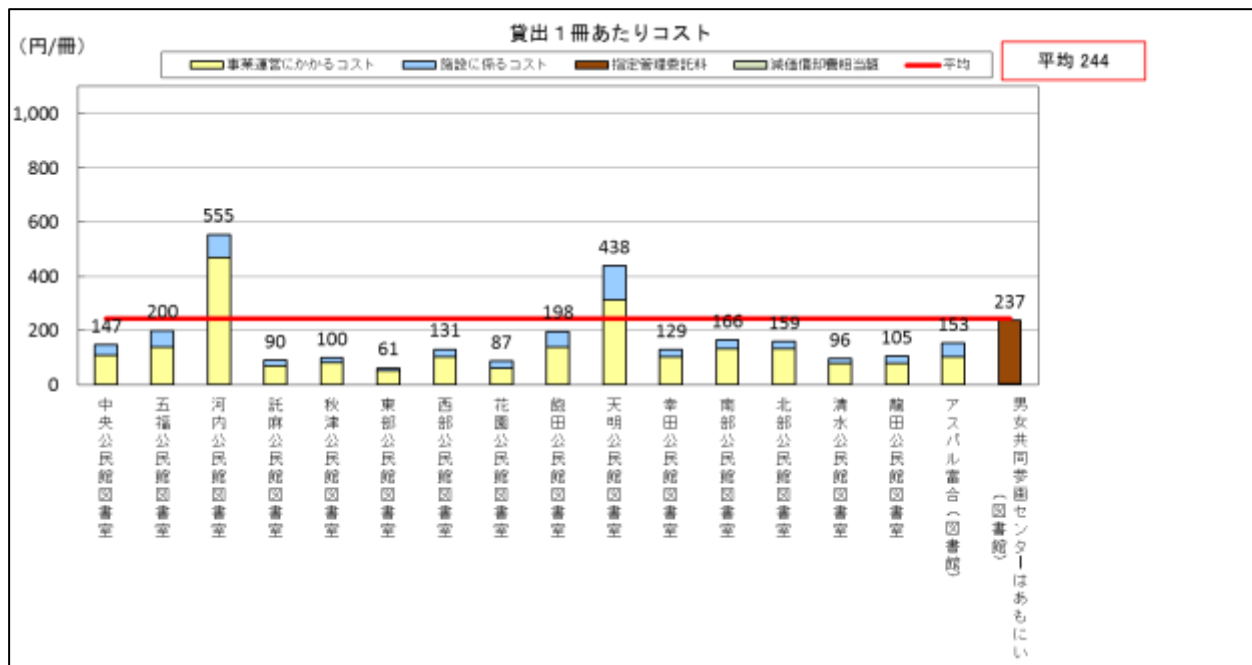
※移動図書館を除く

④評価・分析

施設別の貸出1冊あたりコストの平均は、244 円／冊です。

市立図書館、くまもと森都心プラザ以外では、河内公民館図書室と天明公民館図書室の1冊あたりコストが平均の2倍程度と高い状況です。

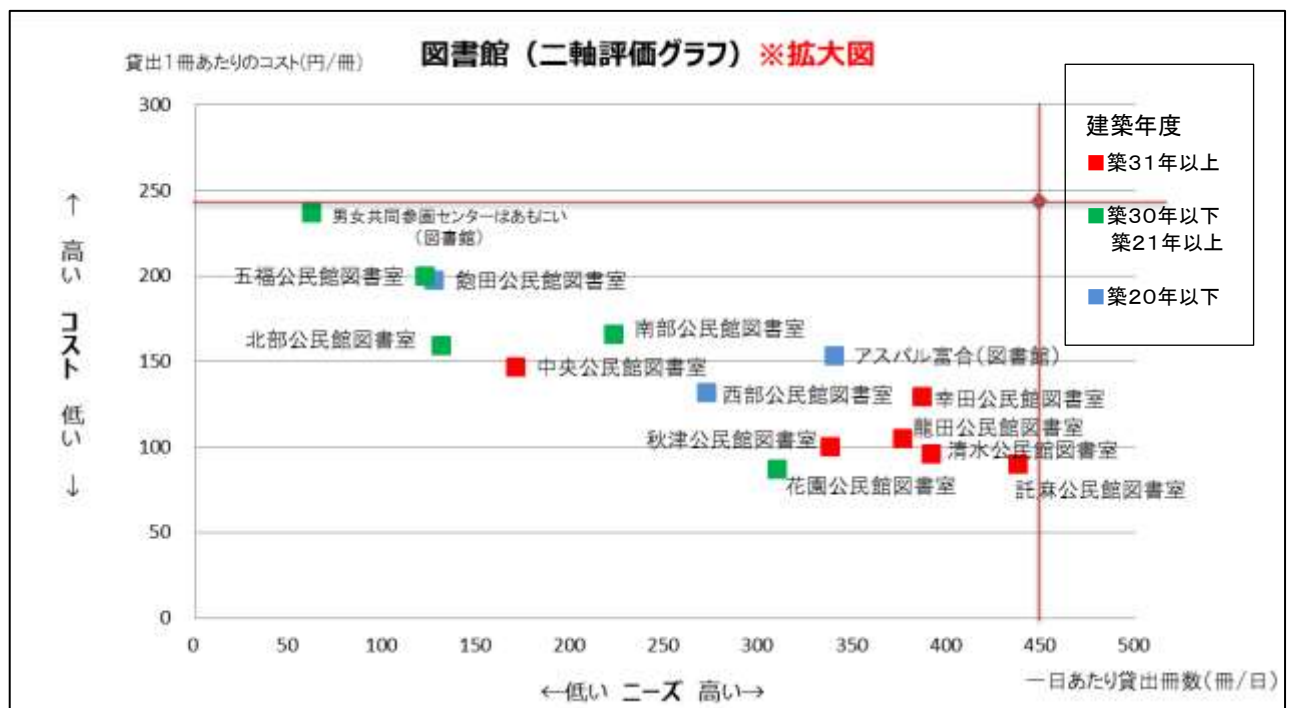
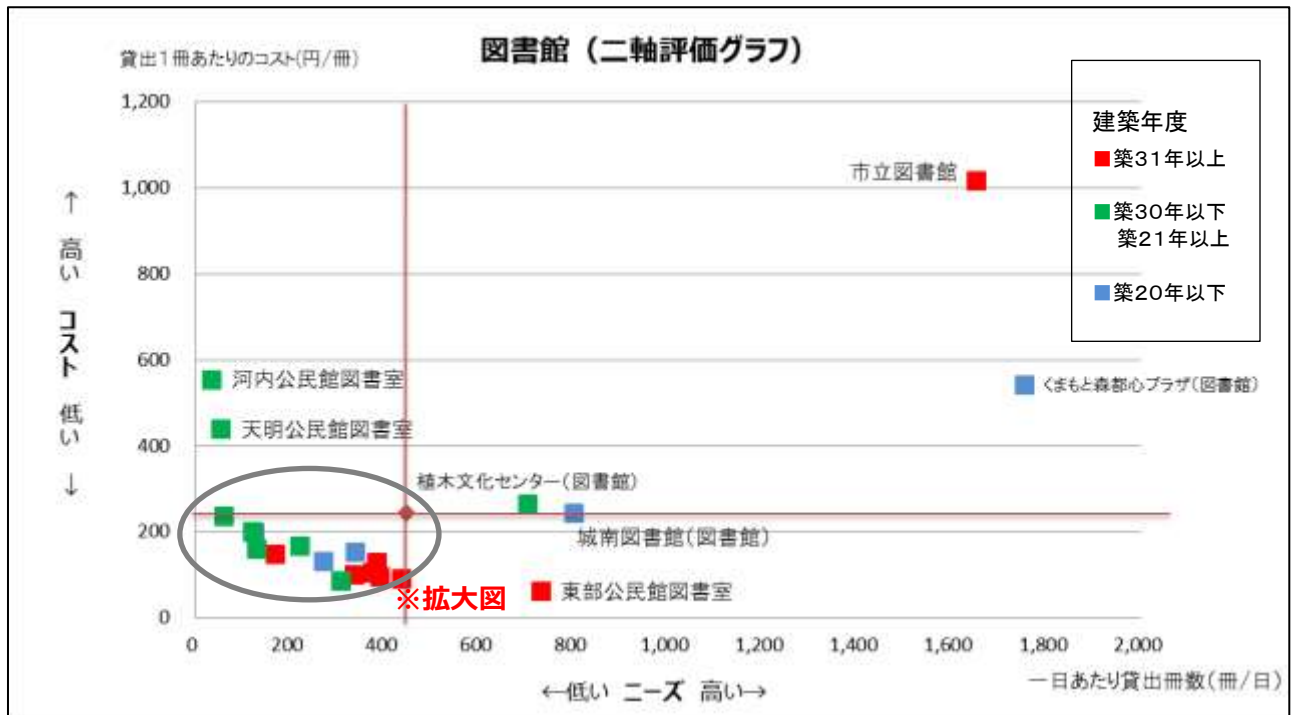
図表 施設別の貸出1冊あたりコスト（平成26年度）



※移動図書館を除く

下図では、コストを貸出 1 冊あたりコスト、ニーズを一日あたり貸出冊数として各施設をプロットしています。横軸である一日あたり貸出冊数の平均は 450 冊で、縦軸である貸出 1 冊あたりコストの平均は 244 円です。市立図書館とくまもと森都心プラザの一日あたり貸出冊数は突出して多い一方、コストは 2 倍近い開きがあります。多くの施設が集中するコストが低くニーズが低い象限を拡大すると、貸出 1 冊あたりコストは、男女共同参画センターはあもにいを除き、100 円から 200 円の範囲に、貸出冊数は約 50 冊から約 400 冊の範囲に分散しています。当該象限だけでも、1 日あたり貸出冊数には約 7 倍の開きがあります。

図表 二軸評価（平成 26 年度）



3) 既存計画の概要

①第5次行財政改革計画（平成26年4月）

方針2 時代の変化を捉えた効率的・効果的な行政運営の推進

分野3 民間活力等の活用

プログラム名 37 図書館サービスの見直し

（実施概要）

○住民・利用者の要望や社会の要請に応え、図書館、図書館分館、さらには公民館図書室それぞれの役割を踏まえ、基本的な考え方と方向性などを示す図書館サービスビジョン※を策定し、指定管理者制度の活用などを含め、住民の自主的な学習活動の場として地域の実情に即した図書館サービスの見直しを図る。

（現状と課題）

（現状）

○平成25年度から、事務事業の更なる効率化を図るため、市立図書館についてカウンター業務を全て嘱託職員によるものとした。

○2000人市民委員会アンケートにより、「図書館サービス」についての意見を聴取した。

（課題）

○カウンター業務の完全嘱託化の成果の検証、2000人市民委員会アンケート結果を分析し、分館・公民館図書室も含めた全市的な図書館サービスのあり方を検討する。

※図書館サービスビジョン・・・より市民に利用される図書館となるよう、公民館図書室を含め、市全体での図書館サービスのあり方について、基本的な考え方と方向性などを策定。

4) 課題

- ・図書館については、全市的に概ねバランスのとれた配置となっていますが、利用状況を見ると、貸出し実績の少ない施設が見受けられます。
- ・行財政改革計画において、運営体制を含めたサービスの見直しや施設の利用活性化に向けた検討を行うこととしています。
- ・また、老朽化した施設も見受けられることから、公民館のあり方見直しと併せて、施設の改修や更新についても検討が求められます。

5) 参考：移動図書館について

市立図書館、城南図書館及び植木文化センター（図書館）では、幼児からお年寄りまで多くの方に図書に親しんでいただくため、移動図書館車を運用し、団地や集会施設等を巡回しています。

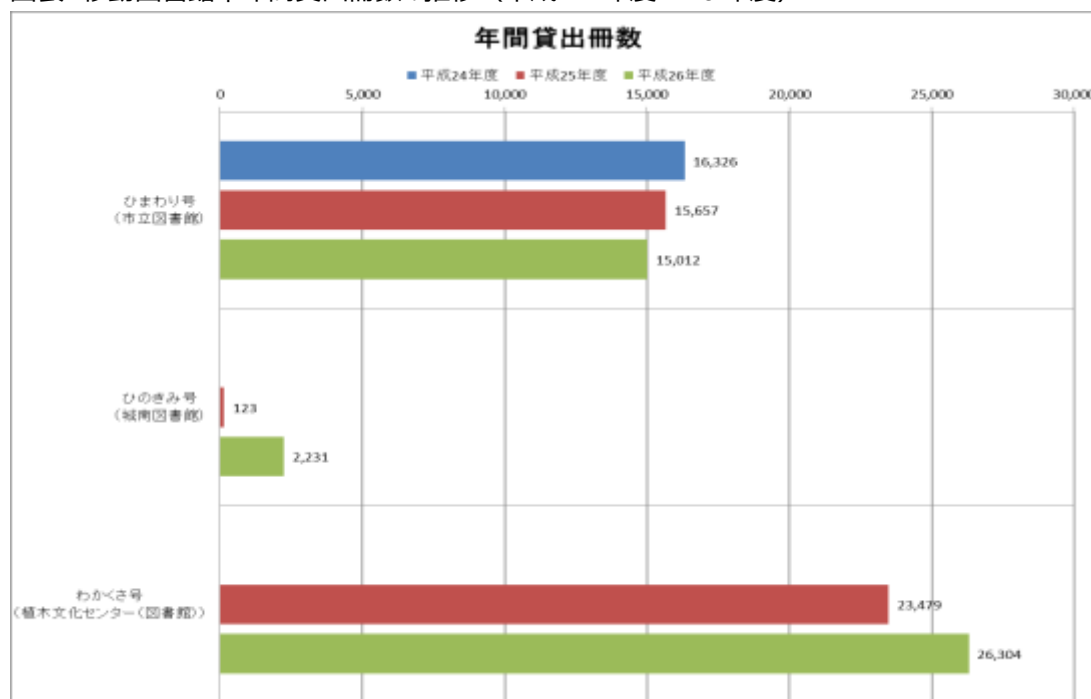
市民は無料で利用が可能で、図書館カードは、図書館や公民館図書室と共通です。

貸出は1人10冊（全館合わせて）まで、貸出期間は次の巡回日までとなっています。

図表 移動図書館車運用状況

施設名	移動図書館車名	巡回ステーション数	巡回周期
市立図書館	ひまわり号	22	2週間
城南図書館	ひのきみ号	20	1ヶ月
植木文化センター（図書館）	わかくさ号	43	1ヶ月

図表 移動図書館車年間貸出冊数の推移（平成24年度～26年度）



※ ひのきみ号は平成26年3月から、わかくさ号は平成25年4月から運用



写真：熊本市立図書館（ひまわり号）

(8) 社会教育系施設：博物館等

1) 施設概要

本市の博物館等は、9 施設あります。総延床面積は約 1 万 6 千㎡で、市が保有する施設の 0. 7%を占めます。築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 7 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

①施設一覧（平成 27 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	備考
1	現代美術館	中央区上通町 2 番 3 号	平成 13 年	14	6,415.91	
2	熊本博物館	中央区古京町 3 番 2 号	昭和 52 年	38	6,107.73	
3	徳富記念園	中央区大江 4 丁目 10 番 33 号	昭和 44 年	46	336.00	
4	リデル、ライト両女史 記念館	中央区黒髪 5 丁目 23 番 1 号	大正 8 年	96	340.68	
5	後藤是山記念館	中央区水前寺 2 丁目 6 番 10 号	平成 8 年	19	374.28	
6	横井小楠記念館	東区沼山津 1 丁目 25 番 91 号	昭和 57 年	33	456.00	
7	三賢堂	西区島崎 5 丁目 32 番 27 号	昭和 11 年	79	437.33	
8	塚原歴史民俗資料館	南区城南町塚原 1924 番地	昭和 58 年	32	1,356.00	
9	田原坂西南戦争 資料館	北区植木町豊岡 858 番地 1	昭和 57 年	33	373.32	平成 27 年 8 月 31 日 閉館 ※
合 計					16,197.25	

※ 国・県・市指定文化財については、対象施設から除く

※ 田原坂西南戦争資料館については、平成 27 年 11 月に新資料館（延床面積：690.41 ㎡）が開設
（本白書では旧資料館のデータを掲載）



現代美術館



熊本博物館

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 27 年 4 月 1 日現在）



2) 実態把握

①運営状況（平成 27 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	運営時間	休 館 日	運営日数	運営方法 (直営、指定管理)	入館料等
1	現代美術館	10:00-20:00	火曜日(当該火曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始	306	指定管理 (利用料金)	有
2	熊本博物館	9:00-17:00	月曜日(月曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始	※ 285	直営	有
3	徳富記念園	9:30-16:30		307	直営	有
4	リデル、ライト両女史記念館	9:30-16:30		307	直営	有
5	後藤是山記念館	9:30-16:30		307	直営	有
6	横井小楠記念館	9:30-16:30		307	指定管理	無
7	三賢堂	9:00-17:00		307	包括委託	有
8	塚原歴史民俗資料館	9:00-16:30		307	直営	有
9	田原坂西南戦争資料館	9:00-17:00	年末年始	359	直営	有

※ 熊本博物館については、リニューアル工事のため、平成 27 年 7 月から平成 29 年未まで休館予定
(平成 26 年 4 月から平成 27 年 6 月末まではプラネタリウム及び一部展示を実施。)



徳富記念園



横井小楠記念館



後藤是山記念館



リデル、ライト両女史記念館



三賢堂

②利用状況

現代美術館は、近年 20 万人を上回る入館者となっています。熊本博物館の入館者は、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開（平成 23 年度）や恐竜展（平成 24 年度）などの開催により増加していましたが、平成 25 年よりリニューアルのため閉館し、プラネタリウムのみ放映を行っています。旧田原坂西南戦争資料館は、平成 20 年の約 3.7 万人をピークに減少していましたが、平成 27 年 11 月には新資料館がオープンしています。塚原歴史民俗資料館以下、その他の施設の入館者数については、概ね 1 万人以下で推移しています。

図表 入館者数の推移（平成 17 年度～26 年度）

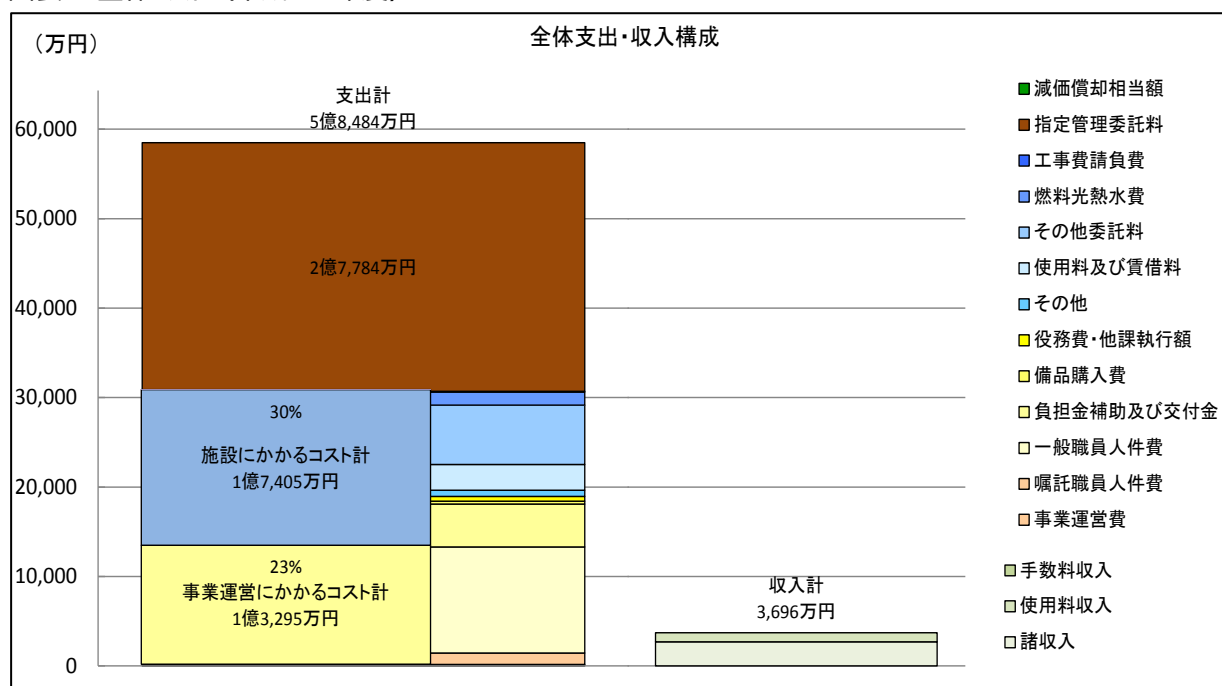


③コスト状況

年間トータルコストは、5億8,484万円です。このうち、指定管理委託料は2億7,784万円(47%)で、施設にかかるコストは1億7,405万円(30%)で、事業運営にかかるコストは1億3,295万円(23%)となっています。

施設別では、現代美術館が3億9,514万円で全体の68%を占めています。次いで、熊本博物館が1億4,721万円で全体の25%を占めています。

図表 全体コスト（平成26年度）



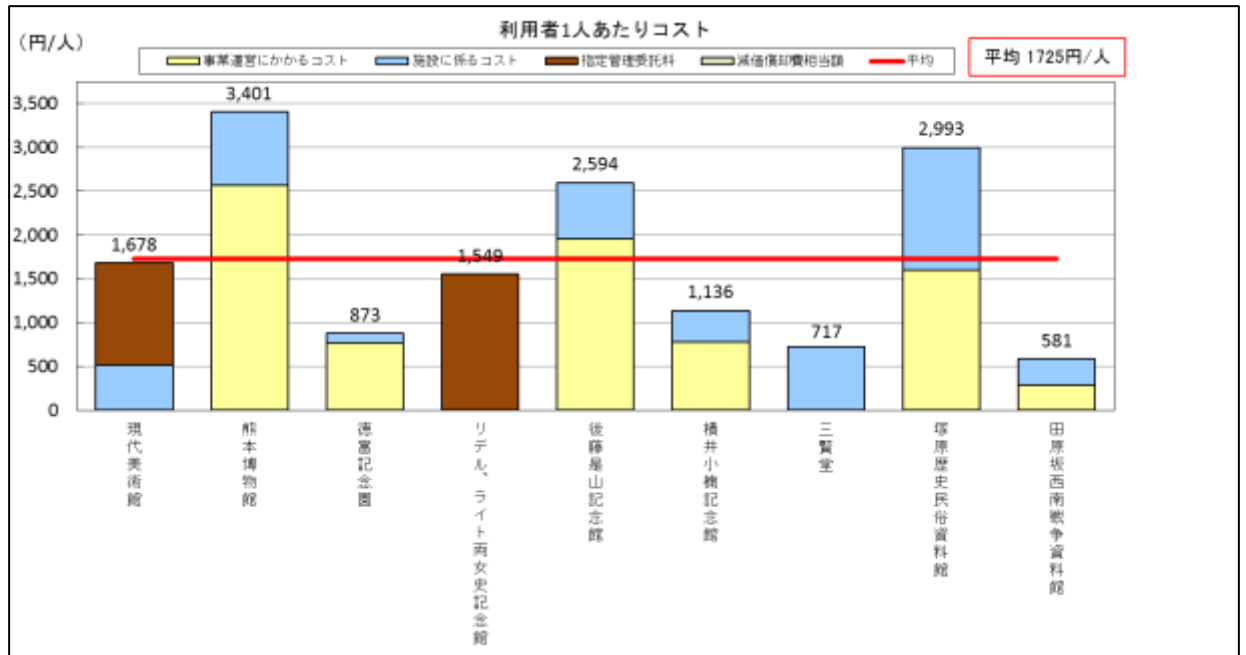
図表 施設別コスト一覧（平成26年度）

No	施設名	支出（円）				収入計（円）
		事業運営費	施設管理費	指定管理費	支出計	
1	現代美術館	0	121,521,037	273,618,980	395,140,017	26,999,165
2	熊本博物館	111,120,000	36,091,544	—	147,211,544	4,974,709
3	徳富記念園	2,701,012	389,962	—	3,090,974	204,580
4	リデル、ライト両女子記念館	0	0	4,220,000	4,220,000	—
5	後藤是山記念館	1,838,091	605,817	—	2,443,908	68,660
6	横井小楠記念館	2,728,829	1,246,733	—	3,975,562	382,280
7	三賢堂	0	365,072	—	365,072	6,300
8	塚原歴史民俗資料館	7,408,000	6,478,355	—	13,886,355	374,488
9	田原坂西南戦争資料館	7,154,855	7,353,601	—	14,508,456	3,948,620

④評価・分析

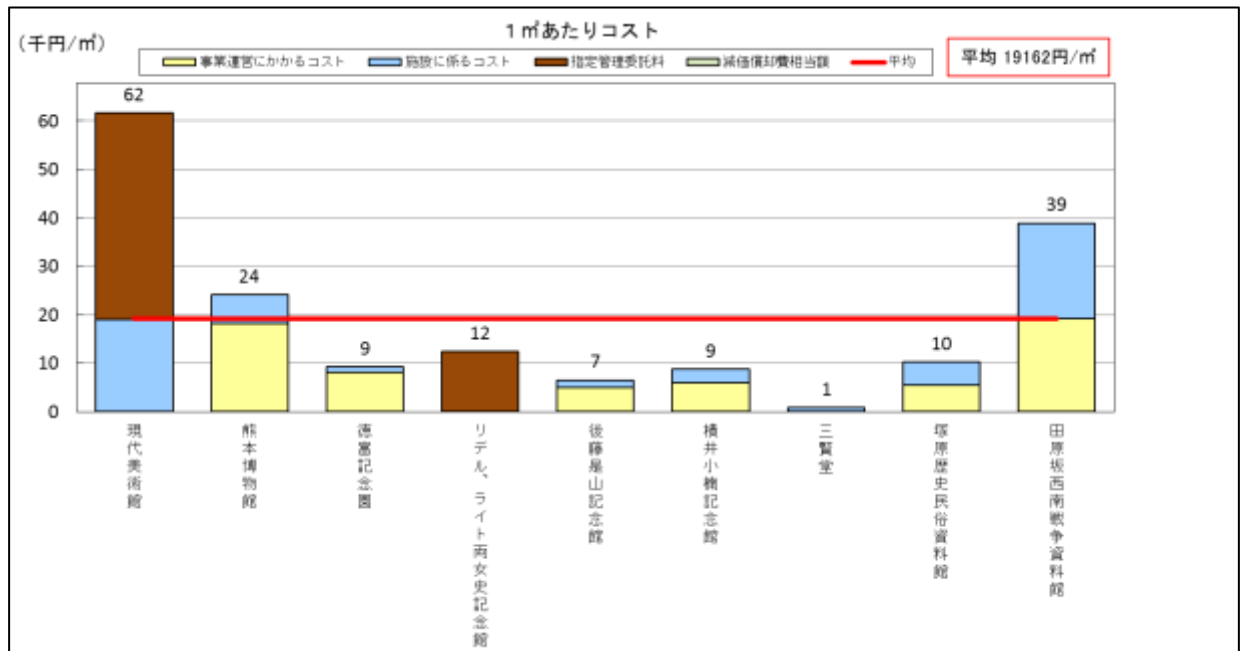
施設別の利用者1人あたりコストの平均は、1,725 円／人です。

図表 施設別の利用者1人あたりコスト（平成26年度）



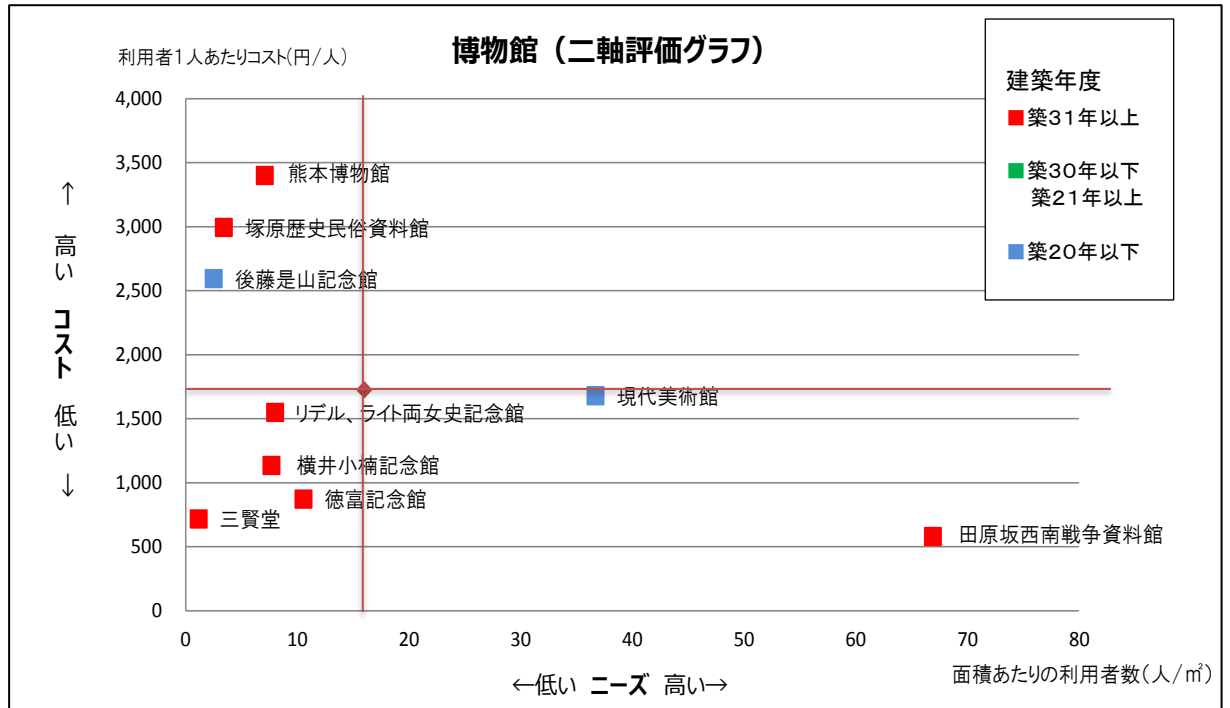
施設別の延床面積1㎡あたりコストの平均は、19,162 円／㎡です。

図表 施設別の延床面積1㎡あたりコスト（平成26年度）



下図では、コストを利用者 1 人あたりコスト、ニーズを面積あたりの利用者数として、各施設をプロットしています。横軸である面積あたりの利用者数の平均は 16 人で、縦軸である利用者 1 人あたりコストの平均は 1,725 円です。田原坂西南戦争資料館は、面積当たりの利用者数が最も多く、利用者 1 人あたりコストが最も低い施設です。次いでニーズが高いのが現代美術館で、コストは平均程度となっています。多くの施設はニーズが低い象限にあります。

図表 二軸評価（平成 26 年度）



※ 熊本博物館は、リニューアル準備のため常設展示休館。プラネタリウムのみ投映。

3) 既存計画の概要

①博物館改修工事の概要

平成 22 年に報告された『熊本博物館のリニューアルに関する検討結果について(報告)』を受けて、「熊本市の政令指定都市移行を機に、熊本博物館を政令指定都市にふさわしい総合博物館として生まれ変わらせ、市民や県民、さらに熊本を訪れる観光客にも親しまれる博物館とする」ため、『熊本博物館リニューアル基本構想・基本計画』が策定されました。

その後、地盤等の詳細調査を踏まえ、国等との協議を進めつつ、リニューアル事業が進められています。リニューアル事業の概要は以下のとおりです。

- 国指定重要文化財「細川家舟屋形」を展示公開するとともに、国指定重要文化財・才園古墳出土品の展示コーナーを新たに設置します。
- 人文系の展示は、装飾古墳や加藤・細川家、西南戦争、城下町などの熊本の特徴的な歴史を紐解くものに力を置きます。
- 自然系の展示は、市内にとどまらず、熊本県博物館ネットワークセンターと連携し、県内の特徴的な動植物や地質を紹介します。
- 博物館機能と、博物館の役割を紹介する展示コーナー(収蔵展示室)を設けます。
- 子どもたちが楽しく活動しながら自然科学の原理や技術・歴史・伝統文化などを体験的に学ぶ場所として「実験室」をつくります。
- 黒川紀章氏のデザインを壊さないようにしながらも、収蔵庫の拡大、空調やトラックヤードの整備などの博物館機能をより高めます。
- 国宝・重要文化財等を展示する「公開承認施設」に対応した設備を目指します。

また、同時に以下の施設整備を行います。

- 吹き抜け空間を二層化し、展示・収蔵空間を増やします。
- 設備改修を進めます。
 - 老朽化(雨漏りなど)が改善されます。
 - 冷暖房効率が良くなり、省エネ化が進みます。
 - 授乳室の設置やトイレの洋式化などにより、いろいろな人々が使いやすくなります。

4) 課題

- ・現代美術館については、中心市街地の再開発ビルに入居しており、立地を活かした集客力の向上及び適切な維持管理によって長寿命化を図ることが課題です。
- ・博物館については、さらなる活性化に向けたリニューアル工事を実施しており、完成後の集客向上が期待されます。
- ・一方、その他記念館・資料館の一部施設は、来館者数がここ数年継続的に低迷しています。
- ・これら施設については、運営手法の検討を含め、利用促進に向けた対策が求められます。
- ・また、老朽化した施設も見受けられることから、施設の改修や更新についても具体的な検討が必要です。

5) 参考

①現代美術館の現状について

本市では、熊本市現代美術館の施設の管理運営について、平成 18 年度より指定管理者制度を活用しています。指定管理期間が 3 期目（平成 26 年度～平成 30 年度）となる現在では、公益財団法人熊本市美術文化振興財団により、『アート力を見せる』・『アートへの愛情を育てる』・『アートでひとをつなぐ』の 3 つの柱を軸とした事業が展開されています。

平成 26 年度は教育現場との連携により、子どもたちに美術の楽しさを伝える取組としてアートバス事業を展開し、アートに触れ体験できる場を提供しました。また、利用料金制導入に伴い、無料入場対象者を全小中学生に拡大することで、幼年期からアートに親しみ関心を高めてもらえるよう努めています。商店街・行政と連携したアートプロジェクトでは年間を通して美術館活動だけにはとどまらない中心市街地の賑わい創出に貢献しています。

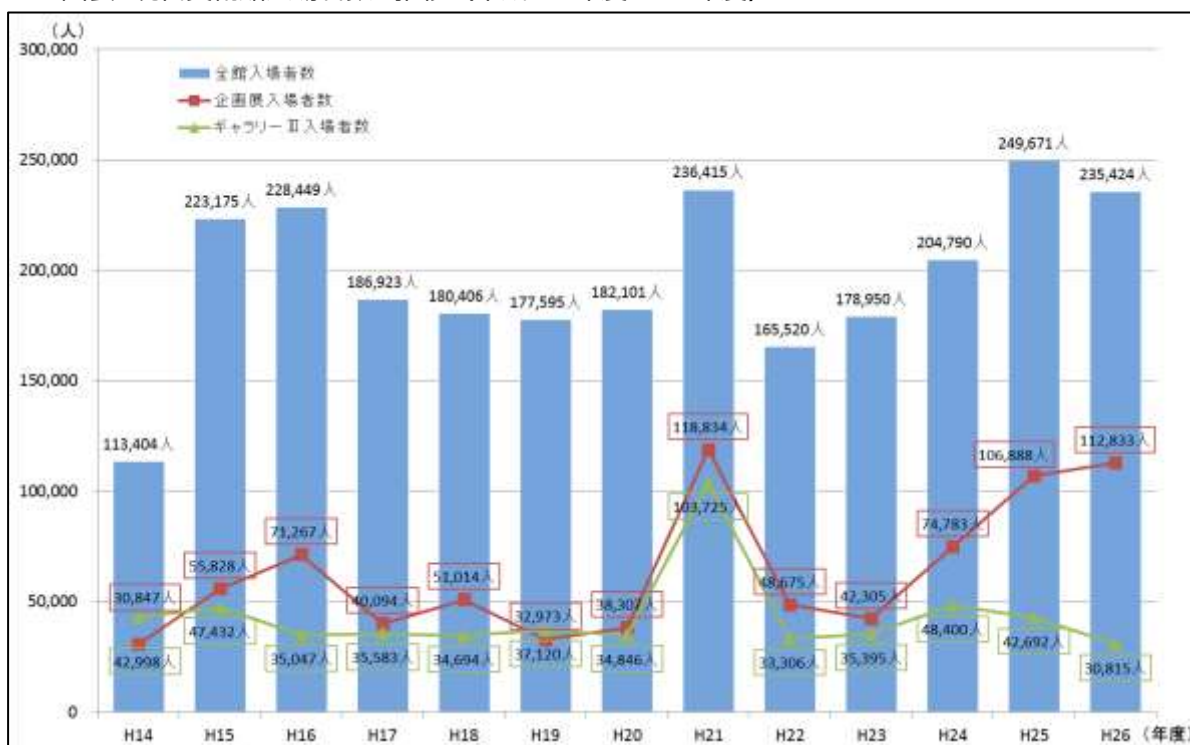
また、老朽化してきた設備等について、逐次、修繕を行い、立ち寄りやすい美術館を目指しています。さらに、キッズサロンやアートスカイギャラリーなどの配置について最適化を図ることで、アートを通しての子育て支援等、他分野への理解の促進に寄与するとともに、人と人が情報を交換し、人と街が繋がる場として、市民交流の拠点施設として居心地のよい空間となっています。

これらの取組みにより、平成 26 年度の施設入場者数は 235,424 人と目標値である 21 万人を大きく上回り、企画展入場者は歴代 2 位となる 112,833 人を記録するなど多彩な事業を実施しています。

展覧会入場者ランキング（平成 26 年度末時点）

- 1位 井上 雄 彦 最後のマンガ展（H21 年度春）79,508 人
- 2位 魔法の美術館展（H25 年度夏）72,049 人
- 3位 生人形と松本喜三郎展（H16 年度夏）38,856 人
- 4位 草間彌生 永遠の永遠の永遠展（H26 年度春）38,610 人
- 5位 篠山紀信 写真力展（H24 年度夏）35,041 人
- 6位 水戸岡鋭治展（H26 年度夏）31,564 人
- 7位 生人形と江戸の欲望展（H18 年度夏）30,625 人

図表 現代美術館入場者数の推移（平成 14 年度～26 年度）



②熊本県立美術館等の取組みの現状

熊本県が市内に所有する美術館等は、熊本県立美術館、熊本県立美術館分館、熊本県伝統工芸会館の3施設があり、全て中央区に設置されています。このうち熊本県立美術館分館、熊本県伝統工芸会館では、指定管理者による運営が行われています。

平成26年度の運営状況を見ると、熊本県立美術館の年間入館者数は320,194人（分館貸会場を含む）、熊本県立美術館分館の年間入館者数は239,431人、熊本県伝統工芸館の年間入館者数は147,294人です。各施設の主な事業は以下のとおりです。

	事業・イベント名	開催日時	入場者数	内容
熊本県立美術館	常設展 第Ⅰ期コレクション展	4/5-6/29	8,862人	細川コレクション：能面や能道具、細川家の家譜や藩主の書状など 特集「武士のファッションー戦場の装いから装身具までー」 美術館コレクション：肥後鐔や刀剣、幕末の御用絵師の絵画など 特集「画家たちの系譜ーフランスから日本へー」
	第Ⅱ期コレクション展	7/11-9/28	10,175人	細川コレクション：細川護立の近代絵画、小林古径《髪》、松岡映丘《室君》など 特集「花鳥の美ー百花繚乱の東洋美術ー」 美術館コレクション：西洋から日本へと連なる版画の系譜を紹介 特集「藤崎八幡宮の歴史と名宝」
	第Ⅲ期コレクション展	10/10-12/23	12,310人	細川コレクション：重文『細川家文書』、彫刻《守護天童像》など 特集「重文指定記念 信長からの手紙」 美術館コレクション：浜田知明《杖をつく男》、ルノール等の油彩画など 特集「生誕300年 矢野雪斐ー雪舟への回帰ー」
	第Ⅳ期コレクション展	1/8-3/22	2,362人	細川コレクション：細川家に伝わる甲冑や《領内名勝図巻》、横山大観《山路》など 特集「細川宏子ー幕末維新期を生きたお姫さまー」 美術館コレクション：「新春の絵画」と題し、新春にちなんだ絵画など 特集「牛島憲一ある戦後の“かたち”ー」
	共催展 ピカソー 版画に魅せられた巨匠	3/29-5/18	21,573人	荒井記念美術館所蔵の版画130点を中心に、青森県立美術館や熊本県立美術館5点の特別作品も加えて展示
	熊本⇄東京 画家たちの上京物語	7/19-8/31	8,497人	坂本善三、大塚耕二、浜田知明という、熊本を代表する3人の画家たちの軌跡をとおり、1920年代末から1960年代までの熊本そして東京の美術の動向
	平山郁夫展 シルクロードから薬師寺へ	9/18-10/24	20,317人	日本画家 平山郁夫の没後5年を記念する展覧会。薬師寺玄奘三蔵院壁画の実物大の天下図の展示など
	パスキン展 愛と放浪の果てーエコール・ド・パリ」の寵児	10/30-1/12	6,377人	パリ市立近代美術館やポンピドゥー・センターをはじめとする国内外の美術館の名品を中心に展示
	熊本県立美術館分館	4つある展示室を貸し会場として、広く県民参加による芸術文化の鑑賞と創造の場として、本県の芸術文化振興の普及・啓発を図るために設置。展示室の合計利用率99.0%、合計利用団体等184団体・個人、合計入場者数239,431人。		
	常設展示室業務（常設展示室内での企画展示）			
熊本県伝統工芸会館	国伝統的工芸品指定記念 伝統の技と心「山鹿灯籠」展	3/25-6/15	2,214人 ※4/1以降	山鹿市で古くから作られている県伝統的工芸品山鹿灯籠の国伝統的工芸品の指定を記念し、その技と美を紹介。
	第43回 伝統工芸日本金工展 in 熊本	6/24-7/27	1,465人	日本工芸会金工部会が主催する公募展の巡回展。日本を代表する金工作家の作品約140点を紹介。
	富重写真所と熊本の工芸 時間の中の景色・人・道具展	9/3-11/24	2,415人	富重写真所が所蔵する写真機や撮影道具、熊本県内の写真と、県内各地の伝統的工芸品をコラボする形で展示紹介。
	石川の現代クラフト展 「いしかわ なう！」	2/10-3/29	1,257人	平成25年から交流を始めた石川県立伝統産業工芸館で開催された企画展から4つのテーマの作品群を紹介。
	企画展示業務（1階企画展示室における企画展示会）			
	くまモンの春の工芸祭りだモン！	4/22-4/27	1,284人	県内で製作されたくまモンの工芸品を展示販売。
	くまもと工芸夏まつり	7/29-8/3	698人	熊本県伝統工芸協会と共同で、小代焼、肥後象がん、天草陶磁器の絵付けなどの工芸教室を開催。
	第32回くらしの工芸展2014	10/2-11/3	2,075人	「くらし」をテーマに県内外から広く作品を公募し、入賞・入選作品を展示・販売。
	くらしの中に熊本のスギ・ヒノキ展	1/20-1/25	1,503人	熊本のスギ・ヒノキを使った県内木工家の作品を展示。

資料：熊本県ホームページ